

経営比較分析表（平成30年度決算）

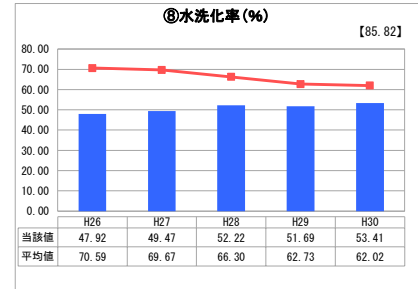
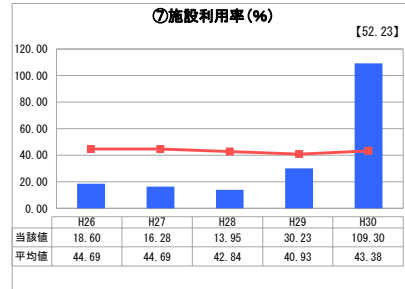
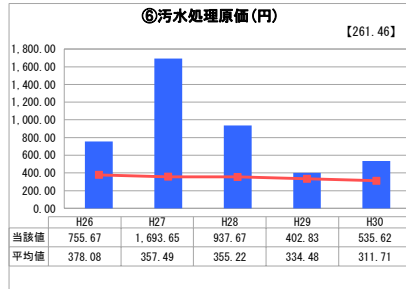
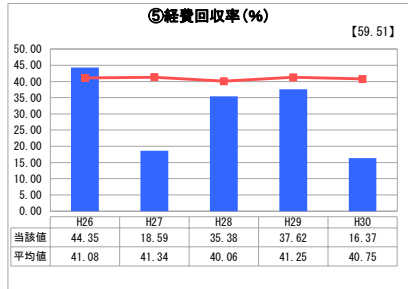
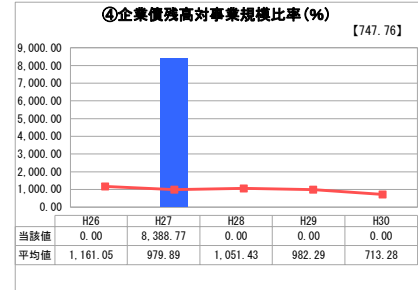
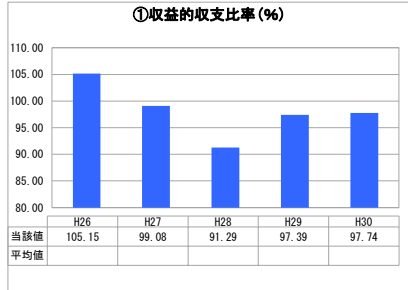
福島県 浅川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.37	100.00	3,675

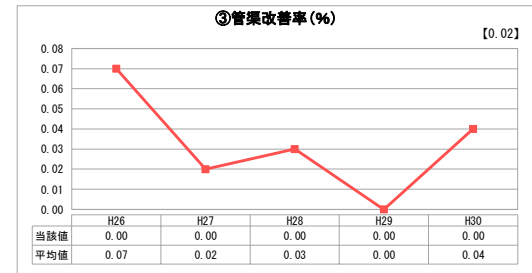
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,440	37.43	172.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
88	0.08	1,100.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、わずかではあるが100%を下回っており、経常収益について使用料以外の収入に依存している。
 経費回収率については、汚水処理経費のほとんどを使用料以外の収入により賄っている状況である。そのため、汚水処理経費の削減に努め財源を確保していく必要がある。
 汚水処理原価は全国平均、類似団体平均と比べて高い値になっており、効率的な汚水処理が実施されているとは言えない。今後は維持管理費の削減に向けた取り組みをする必要がある。
 施設利用率については、H30に急激に上昇しているが、これは流量計の故障により正確な処理水量が計測できなかった期間があったことによるものであり、実際の利用率については、例年同様に全国平均、類似団体平均と比べ低い値となっている。
 水洗化率についても全国平均、類似団体平均と比べ低い値になっており、これは接続人口の減少や、それに伴う使用料収入の不足が要因であると考えられる。

2. 老朽化の状況について

当該施設は平成22年以降管渠工事を行っていないが、管渠老朽化率の観点からも早急な改築等の必要性は低いと考える。今後は施設管理委託業者との連絡を密に行い、必要があれば早急に改善作業を行う。

全体総括

当該施設については、使用料の収入のみでは健全な経営ができず、一般会計からの繰入金で経営を続けている状況である。
 今後は汚水処理経費や維持管理費の削減に向けた取り組みを共に、使用料の収入を増やすため、未接続宅に対する加入促進の依頼を行い、接続に対する意向を伺うと共に、地元排水業者からも啓発活動を依頼するなど接続人口の増加活動に努めていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。